

2027年度（令和9年度）

学生募集要項

大学院
国際関係学研究所
【修士課程】

※記載内容に変更が生じた場合は、随時、ホームページにて周知します。

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

目 次

	ページ
目次	1
入試日程	2
1 募集人員及び修業年限	3
2 出願資格	3
3 選抜区分	4
4 出願資格審査	4
5 出願	6
6 選抜方法	7
7 試験日程及び会場	7
8 合格発表	8
9 出願上の留意事項	8
10 その他	8
国際関係学研究科の概要	10
担当教員名簿	12
共通科目・専門科目一覧	13
案内図	16

入試日程

・出願資格(1)(2)のいずれかに該当する者で
一般選抜・社会人特別選抜・外国人特別選抜に
出願する者

・出願資格(3)～(10)のいずれかに該当する者
・推薦特別選抜での出願を希望する者

出願資格審査書類受付期間

一次募集:2026年 7月6日(月)～7月10日(金)16:00必着
二次募集:2026年12月2日(水)～12月8日(火)16:00必着

出願期間

一次募集:2026年8月24日(月)～8月28日(金)15:00必着
二次募集:2027年1月20日(水)～1月26日(火)15:00必着

試験日

一次募集:2026年9月19日(土) 草薙キャンパス
二次募集:2027年2月12日(金) 草薙キャンパス

合格発表

一次募集:2026年9月30日(水)10:00
二次募集:2027年2月16日(火)10:00
※合格者の受験番号は本学ホームページにて掲載します。
ただし、合格通知書の送付をもって正式通知とします。

入学手続日

一次募集:2026年10月23日(金)
二次募集:2027年 3月15日(月)
※一次募集の合格者のうち、希望者は二次募集の受付日に手続をすることができます。
※郵送による受付日は入学手続要項送付時にお知らせします。

1 募集人員及び修業年限

選 抜 区 分			一次募集		二次募集	
			一般選抜	特別選抜 (社会人、外国人、 推薦)	一般選抜	特別選抜 (社会人、外国人)
専 攻	国際関係学専攻	募集 人員	5人		若干名	
	比較文化専攻		5人			

※標準修業年限：2年

2 出願資格

2027年3月末日をもって、下記(1)～(10)のいずれかに該当、あるいは該当する見込みの者。

- (1) 大学を卒業した者（法第102条）※「大学」とは日本国内の大学を指します。
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者（施行規則第155条第1項第1号）
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者（施行規則第155条第1項第2号）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者（施行規則第155条第1項第4号）
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第155条第1項第4号の2）
- (7) 文部科学大臣に指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者（施行規則第155条第1項第5号）
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号・昭和30年文部省告示第39号：旧制学校、気象大学校、防衛大学校、海上保安大学校を卒業した者など）
- (9) 本学学長が、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
（2027年3月までに3年以上の在学、15年の課程修了が見込まれる者を含む。）
※「所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者」とは修得単位124単位以上（2027年3月までの見込みを含む。）、優以上が2/3以上で評定平均が4.5以上（優以上・S・A 5点、良・B 4点、可・C 3点）の者をいいます。
※中国の3年制大学（専科・職業学院等）のみ卒業した者は(9)には該当しません。
- (10) 本学学長が、大学院の個別入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに22歳に達する者

※（ ）は関連法令（法：学校教育法、施行規則：学校教育法施行規則）

出願資格(3)～(10)のいずれかに該当する者、または推薦特別選抜での出願を希望する者は、出願資格の審査を行います。

当該年度よりも前に出願資格審査で出願を認められた者も、改めて出願資格審査を受ける必要があります。期日までに提出がない場合には、いかなる理由があっても出願できませんのでご注意ください。（4ページ参照）

3 選 抜 区 分

《一般選抜》

2の出願資格(1)～(10)のいずれかに該当する者が出願できます。

《社会人特別選抜》

2の出願資格(1)～(10)のいずれかに該当し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者は、社会人特別選抜として出願できます。

- ① 社会人として実務経験を3年以上有する者
- ② ①のほか、企業、研究機関等に勤務している者
- ③ その他学長が特に認める者

※この募集要項における社会人としての「実務経験」には、社会活動や家事労働経験等も含まれます。

《外国人特別選抜》

2の出願資格(1)～(10)のいずれかに該当し、かつ、日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く）で、教育を受ける目的をもって入国した者または入国する者は外国人特別選抜として出願できます。

《推薦特別選抜》

本学国際関係学部 に在籍し、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 本学国際関係学部4年生に在学し、3年次までの修得単位100単位以上（2026年3月まで）、かつ優以上の単位が2/3以上の者で、2027年3月に卒業見込みの者
- (2) 本学国際関係学部3年生に在学し、修得単位124単位以上（2027年3月までの見込みを含む）、かつ優以上の単位が2年生修了時および3年生修了時ともに3/4以上の者
- (3) (1)、(2)に定める他に、本学国際関係学部 に3年以上在学し、本学学長が優秀な成績を修めたと認められた者

4 出 願 資 格 審 査

出願資格(3)～(10)に該当する者、または推薦特別選抜での出願を希望する者は、出願資格の審査を行いますので、一次募集、二次募集それぞれの申請期間に、指定する提出書類を郵送または持参により学生部入試室まで提出してください。

期日までに提出がない場合には、**いかなる理由があっても出願できません**のでご注意ください。

審査結果については、後日、申請書の住所宛に郵送にて通知します。出願期間の1週間前になっても到着しない場合は入試室へ連絡してください。

(1) 出願資格審査申請期間

一次募集

2026年 7月6日（月）～7月10日（金）

二次募集

2026年12月2日（水）～12月8日（火）

※受付時間は一次募集・二次募集ともに、平日9:00～12:00、13:00～16:00
(郵送の場合も、最終日16:00必着)

(2) 出願資格審査申請方法

角形2号の封筒（縦332mm×横240mm）に該当する書類を入れ、学生部入試室宛に提出してください。（封筒の表書きには「大学院国際関係学研究科 修士課程 出願資格審査書類在中」と朱書してください）。郵送の場合は、**簡易書留郵便**または**簡易書留速達郵便**により提出してください（提出先は本冊子裏面参照）。

証明書が1部しか発行されない等の理由で、卒業証明書や成績証明書の原本返却を希望する場合は、本学ホームページから「証明書【原本】返却願」を印刷し、必要事項を記入のうえ同封してください。

(3) 提出書類

<一般選抜・社会人特別選抜・外国人特別選抜> ※○は提出必須。△は該当のある者は提出してください。

提出書類	a	b	c	d	e	f	g	h	i
出願資格									
(3), (7), (8)	○	○	△	○	○				
(4), (5), (6)	○	○	△			○			
(9)	○	○	△	○	○		○	○	○
(10)	○	○	△	○	○		○	○	

提出書類	説明 (「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること)
a 出願資格審査申請書	「所定の様式」 ◎申請受付期間よりも前に、志望指導教員に必ず連絡をとること。連絡の取り方がわからなければ、電子メールでgsir-contact@u-shizuoka-ken.ac.jp宛てに連絡すること。
b 履歴書	「所定の様式」履歴事項が多い場合は別紙を添付すること。
c 住民票 ※外国人留学生のみ	日本に在住している外国人：市区町村長が発行する住民票（在留資格、在留期間が明示されているもの）を提出すること。※在留カードのコピーは不可 日本に在住していない外国人：旅券の写しまたは国籍を証明する書類を提出すること。
d 卒業(見込)証明書【原本】 *1	出身大学において作成、 厳封したもの を提出すること（大学中退の場合は、退学証明書）。※日本語以外で表記されている場合は日本語訳を添付
e 成績証明書【原本】 *1	出身大学において作成、 厳封したもの を提出すること（大学に編入している者は、編入前の学校の成績証明書も提出すること。大学中退の場合は、その大学の成績証明書）。 ※日本語以外で表記されている場合は日本語訳を添付
f 出願資格を証明する書類 *1	入試室の確認を受けること。
g 出願資格審査にあたり、「学士」相当の学力を有することを示せる書類 *1	著書、論文、調査報告書、その他「学士」相当の学力を有することを示せる書類。「論文」は「卒業論文」でも可。 英語以外の外国語によるものには、1,000字以上の日本語訳または日本語要約を付けること。なお、出願時に別途提出予定書類の「これまでの研究の経過・概要説明書」の内容と重複してもよい。（A4判縦、様式任意）
h これまでの学習をふまえた研究計画	日本語または英語で記入のこと。 日本語の場合は4,000字程度、英語の場合は1,200～1,500ワードの研究計画書。なお、出願時に別途提出予定書類の「研究計画・出願理由書」の内容と重複してもよい。（A4判縦、様式任意）
i 推薦状	所属する学科長以上の推薦状（必ず「公印」を押印すること。）

*1 姓が変更となっている場合は住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

【外国の大学を卒業（見込）の方は下記をご確認ください】

- ・提出書類dが提出できない場合は、出願資格を証明する書類（授与された証書等）の【原本】を提出してください。
- ・外国の大学で作成された書類については、厳封されていなくても結構です。

<推薦特別選抜>

区分	提出書類	説明 (「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること)
1) 推薦特別(1) a, bを提出すること	a 出願資格審査申請書 (推薦用)	「所定の様式」 ◎申請に先立って、必ず志望指導教員に相談すること。
	b 成績証明書【原本】	本学発行のもの
2) 推薦特別(2) a～cを全て提出すること	c 推薦状	ゼミナール指導教員又は学部長のもの (A4判縦 様式任意)
3) 推薦特別(3) a～dを全て提出すること	d 優秀な成績を修めたことを証明するもの	A4判縦 様式任意

5 出願

(1) 出願期間

一次募集

2026年 8月24日(月)～8月28日(金)

二次募集

2027年 1月20日(水)～1月26日(火)

※窓口受付時間は一次募集・二次募集ともに、平日9:00～12:00、13:00～16:00

※最終日は、15:00まで(郵送も含む)

(2) 出願手続

角形2号の封筒(縦332mm×横240mm)に該当する書類を入れ、学生部入試室宛に提出してください。

(封筒の表書きには「大学院国際関係学研究所 修士課程 出願書類在中」と朱書してください)。

郵送の場合は、簡易書留郵便または簡易書留速達郵便により提出してください(提出先は本冊子裏面参照)。

(3) 提出書類

※出願資格審査で提出済みの書類については、再提出は不要

出願書類		説明 (「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること)
a	入学願書	「所定の様式」 ◎出願受付期間よりも前に、志望指導教員に必ず連絡をとること。連絡の取り方がわからなければ、電子メールでgsir-contact@u-shizuoka-ken.ac.jp宛てに連絡すること。
b	写真票	「所定の様式」写真(4.0cm×3.0cm)を貼付すること。
c	卒業(見込)証明書 【原本】 *2 *3	出身大学において作成、 厳封したもの を提出すること。
d	成績証明書【原本】 *2 *3	出身大学において作成、 厳封したもの を提出すること。 ※大学等に編入した者は、編入前の学校の成績証明書も提出すること。
e	研究計画・出願理由書	「所定の様式」日本語または英語で記入すること。
f	これまでの研究の経過・概要説明書	「所定の様式」日本語または英語で記入すること。
g	入学検定料	30,000円 郵便局の普通為替証書に限る。購入後、何も記入しないこと。
h	返信用封筒 (受験票送付用)	市販の長形3号の封筒(横120mm×縦235mm)に、住所・氏名・郵便番号を明記し、 460円分の切手を貼付 すること。
i	住所票	「所定の様式」住所・氏名を明記すること。「様」は消さない。

*2 姓が変更となっている場合は、住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

*3 大学を複数卒業していて証明書が複数になる場合は、事前に入試室に相談し、指示を受けてください。

◎2の出願資格(2)で出願する者は、次の書類のどちらかを提出してください。

出願書類	説明
a	学士の学位授与証明書
b	修了見込証明書及び学位授与申請予定証明書

大学改革支援・学位授与機構が発行したもの
学士の学位授与申請をする予定の者は、短期大学長又は高等専門学校長が発行する「学位授与申請(予定)証明書」及び「短期大学または高等専門学校の修了見込証明書」を提出すること。(A4判縦 様式任意)

◎社会人特別選抜で出願する者は、次の書類を併せて提出してください。

出願書類	説明
職務経歴書	現在までに経験した職務について、できるだけ詳しく記述すること。 (A4判縦 様式任意 枚数は自由)

※ 官公庁・会社等に在職のまま入学しようとする人は、あらかじめ勤務先とよく相談、調整しておいてください。

◎推薦特別選抜で出願する者は、次の書類を併せて提出してください。

出願書類	説明
推薦状	ゼミナール指導教員または学部長のもの(A4判縦 様式任意)

◎出願時に日本国外に在住の者は、次の書類を併せて提出してください。

出願書類	説明
経費支弁能力を証明する書類	<p>出願者は、自身の留学予定期間中に必要となる経費について十分な支弁能力があることを、以下の書類により立証してください。</p> <p>(出願者本人が経費支弁者となる場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経費支弁計画書(所定の様式) ・支弁の裏付けになる書類(本人の預金残高証明書等) <p>(出願者本人と経費支弁者が異なる場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経費支弁計画書(所定の様式) ・支弁の裏付けになる書類(預金残高証明書等) ・経費支弁者と出願者との親族関係を証明する書類

6 選抜方法

[一次募集] 一般選抜、社会人特別選抜、外国人特別選抜

出願書類、学力検査(外国語:200点)及び口頭試問(300点)の結果を総合的に審査し、決定します。

口頭試問は、出願書類、特に「研究計画・出願理由書」および「これまでの研究の経過・概要説明書」に基づき実施します。

[一次募集] 推薦特別選抜

出願書類及び口頭試問(300点)の結果を総合的に審査し、決定します。学力検査(外国語)は免除します。

口頭試問は、出願書類、特に「研究計画・出願理由書」および「これまでの研究の経過・概要説明書」に基づき実施します。

[二次募集] 一般選抜、社会人特別選抜、外国人特別選抜

出願書類及び口頭試問(300点)の結果を総合的に審査し、決定します。

口頭試問は、出願書類、特に「研究計画・出願理由書」および「これまでの研究の経過・概要説明書」に基づき実施します。

口頭試問は対面を原則とします。ただし、志願者が**出願受付期間よりも前に**志望指導教員に申し出てその了承を得たうえで、研究科入試実施委員会の承認を受け、かつ志願者が試験当日良好な通信環境を準備できる場合に限り、オンラインによる口頭試問を認めます。志望指導教員への連絡方法が不明な場合は、[電子メールでgsir-contact@u-shizuoka-ken.ac.jp宛てに連絡](mailto:gsir-contact@u-shizuoka-ken.ac.jp)してください。

7 試験日程及び会場

(1) 試験日時

[一次募集]

一般選抜、社会人特別選抜、外国人特別選抜

月 日	時 間	科 目 等
2026年9月19日(土)	9:00~10:30(90分)	外国語
	12:00~	口頭試問

外国語については、下記のとおりです。

分野	外国語科目 ※注1
国際政治・開発研究分野	「英語」 または「日本語 ※注2」
国際社会・文化研究分野	「英語」 または「日本語 ※注2」
日本文化研究分野	「英語」 ただし、外国人特別選抜出願者は「日本語」
アジア文化研究分野	「英語」 または「日本語 ※注2」
英米文化研究分野	「英語」
ヨーロッパ文化研究分野	「英語」 または「日本語 ※注2」

※注1: どの言語を選択するか、あらかじめ願書に記載すること。辞書の持ち込みは不可。

※注2: 外国人特別選抜出願者のみ選択可能。

推薦特別選抜

月 日	時 間	科 目 等
2026年9月19日(土)	12:00～	口 頭 試 問

[二次募集]

一般選抜、社会人特別選抜、外国人特別選抜

月 日	時 間	科 目 等
2027年2月12日(金)	受験票送付時に通知	口 頭 試 問

※オンラインによる口頭試問の開始時刻、方法、注意事項等については、試験当日までに担当者より別途通知します。

(2) 試験会場

静岡県立大学 草薙キャンパス (※本冊子の16ページ参照)

8 合格発表

発表日時 2ページに記載のとおり

- (1) 合格者の受験番号は本学ホームページ (<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/>) に掲載します。ただし、合格通知書の送付をもって正式通知とします(電話等による照会には一切応じません)。
- (2) 合格通知書は、出願時に選択した方法(郵送または入試室での受け取り)にてお渡しいたします。

9 出願上の留意事項

- (1) 出願資格審査の提出書類および出願書類のうち「所定の様式」のものは、本学ホームページ(入試情報)に掲載のPDFもしくはDOCXファイルを印刷したものを利用してください。(<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/>を参照)。
- (2) 出願書類に不備のある場合は、受理しないことがあります。
- (3) 出願書類受理後の書類の変更は認めません。
- (4) 一度受理した出願書類及び入学検定料は返却しません。
- (5) 出願書類等に虚偽の記載があった場合には、合格を取り消します。
- (6) 過去の入学試験問題については、学生部入試室窓口(平日9:00～12:00、13:00～17:00)または本学図書館で閲覧することができます。

本学図書館の開館日時などの詳細は下記にて確認してください。

【図書館】 TEL: (054) 264-5800 (草薙キャンパス)

URL: <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/library/>

また、著作権上掲載できない箇所を黒塗りした過去の入学試験問題については、本学国際関係学研究所特設ホームページ(入試情報)に掲載しています。(<https://ir.u-shizuoka-ken.ac.jp/grad/application/kakomon.html>)

- (7) 入学志願者で、身体に障がい等(障がいの程度は学校教育法施行令第22条の3の規定に該当するもの)があり、受験上特別な配慮を要する者は、以下の日までに入試室へ必ず事前照会してください。
・一次募集 2026年7月10日(金)16:00まで ・二次募集 2026年12月8日(火)16:00まで

10 その他

(1) 入学手続等について

合格者に対して、「入学手続要項」を送付します。概要は以下のとおりです。

ア 入学手続

(ア) 受付日【持参の場合】 ※郵送による受付日は入学手続要項送付時にお知らせします。

一次募集: 2026年10月23日(金)

二次募集: 2027年3月15日(月)

(注) 一次募集の合格者のうち、希望者は二次募集の受付日に手続をすることができます。その場合は必ず入学手続要項送付時に指定する期日までに学生部入試室に申請をしてください。

(イ) 主な提出書類・納付金

a 宣誓書・保証書 b 住民票（静岡県内の者のみ）※注1 c 写真

d 入学料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。※注2

(参考) 2026年度入学者実績：静岡県内の者141,000円・静岡県外の者366,600円

※注1：「静岡県内の者」とは、本人または本人の配偶者若しくは1親等の親族が、入学手続を行う月の1日において、引き続き1年以上の期間静岡県に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。

※注2：2026年度中に入学料が改定された場合には、改定後の入学料が適用されることとなります。

e 保険料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2026年度入学者実績：2,430円

f その他諸経費 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2026年度入学者実績

本学出身者※注	他大学出身者
10,000円	20,000円

注：本学出身者であっても、卒業した学部や、志望する研究科によっては、他大学出身者と同じ金額になる場合があります。

イ 授業料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2026年度入学者実績

前期授業料（入学時に納付）	267,900円
後期授業料（10月に納付）	267,900円
合計（授業料年額）	535,800円

注：年額一括納付はできません。また、2026年度中または入学時に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新たな授業料額が適用されます。

(2) その他参考事項

ア 日本学生支援機構（旧日本育英会）奨学金について

一次募集合格者は、合格通知書送付の際に貸与希望を確認します。二次募集合格者は、合格通知書に同封する「入学手続要項」にてご確認ください。

イ 授業料等の減免について

この制度の詳細については、「入学手続要項」にてご確認ください。

また、災害被災者の場合は、申請により授業料以外に入学料も免除されることがあります。

注：日本学生支援機構奨学金及び授業料等の減免の詳細については、学生部学生室に照会してください（TEL (054) 264-5009）。

ウ 長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有している、育児・介護等を行う必要がある、障害を持っている等の事情により、標準的な修業年限（2年）での修了が困難と認められる者に限り、所定の在学年限（4年）の範囲内で修業期間を延長して教育課程を履修することを認める制度です。この制度の利用により、授業料については、標準修業年限分の総額を長期履修が認められた年数で分割して納入することができます。詳細については、学生部学生室に照会してください（TEL (054) 264-5009）。

【国際関係学研究科の概要】

静岡県立大学大学院国際関係学研究科

教育理念、教育目標、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受け入れ方針 令和4年4月1日改正

教育理念

国際関係学研究科は、地球規模の諸関係の緊密化が進む今日の世界において、国際的な俯瞰力と国際関係に関連する専門力により、国際社会や地域社会における諸課題を探究できる能力を育成し、それを活用して、教育・研究機関、官庁、民間企業、NGO・NPO等の国際社会や地域社会の多様な現場で活躍できる人材を育成することを理念とします。また、純粋に国際関係に関連する高度な専門知を学びたいという社会人や市民のニーズに応えます。

教育目標

本研究科は、上記の教育理念の実現に必要とされる専門的知識と研究技法を修得し、修了後、それを活用して国際社会や地域社会における諸課題を探究できる能力を育成することを教育目標とします。国境を越えた研究の視座の獲得のために国際関係学専攻、文化や言語の比較研究の視座の獲得のために比較文化専攻を設置して、国際的な俯瞰力の育成に力点を置いています。また、多様な専門分野による教育課程を配置することで、専門性と学際性を併せ持つ人材の育成を目指します。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【国際関係学専攻】

本専攻は、教育理念・目標に掲げた「国際社会や地域社会における諸課題を探究できる能力」の内容を以下の通り定めています。

1. 専門分野の文献を適切に理解・評価し、研究報告を行うことのできる能力。
2. 専攻した専門分野の知識と方法論を修得し、それを国際的な俯瞰力とともに活用できる能力。とくに、国際関係学専攻においては国境を越えた研究の視座を修得していること。
3. 研究や調査の遂行に必要とされる学術的な外国語の能力。
4. 国際関係に関連する妥当な研究テーマを設定し、それに沿って一貫した論旨を展開できる能力。
5. 先行研究を踏まえて、自らの研究内容の独自性を提示し、展開できる能力。
6. 自らの研究内容について口頭で適切な説明と応答ができる能力。
7. 研究倫理について十分に配慮できる能力。

研究科規程に記載された修了要件を満たした大学院生を上記の能力を身につけた者と認め、修士の学位を授与します。

【比較文化専攻】

本専攻は、教育理念・目標に掲げた「国際社会や地域社会における諸課題を探究できる能力」の内容を以下の通り定めています。

1. 専門分野の文献を適切に理解・評価し、研究報告を行うことのできる能力。
2. 専攻した専門分野の知識と方法論を修得し、それを国際的な俯瞰力とともに活用できる能力。とくに、比較文化専攻においては、文化や言語を比較研究できる視座を修得していること。
3. 研究や調査の遂行に必要とされる学術的な外国語の能力。
4. 国際関係に関連する妥当な研究テーマを設定し、それに沿って一貫した論旨を展開できる能力。
5. 先行研究を踏まえて、自らの研究内容の独自性を提示し、展開できる能力。
6. 自らの研究内容について口頭で適切な説明と応答ができる能力。
7. 研究倫理について十分に配慮できる能力。

研究科規程に記載された修了要件を満たした大学院生を上記の能力を身につけた者と認め、修士の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

学位授与の方針に示される能力を有する人材を育成するために、国際関係学研究科は、以下の方針に基づき、教育課程を編成しています。

1. 本研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育課程を体系的、順次的に編成する方針をとります。修士課程一年次はコースワーク中心で学び、二年次ではリサーチワーク中心に移行します。
2. コースワークをおもに共通科目と専門科目から編成し、学術的な文献理解能力、研究報告能力の鍛錬と同時に、専門的知識と研究の方法論を修得することを目指します。専門科目は専門性を深めるために6つの研究分野ごとに編成されており、共通科目では専攻に必要な重点的能力を修得します。
3. コースワークの中心となる研究分野ごとの専門科目は学際的に編成されており、研究の視野を拡げることが方針とします。また、所属研究分野外の科目も履修することも可能で、知識を学際的に修得できるように配慮されています。
4. リサーチワークは、各研究分野で開講されている演習科目、およびフィールドワークにおいて行う方針です。適切な研究テーマを設定し、それに沿って一貫した論旨を展開できる能力、先行研究を踏まえて自らの研究内容の独自性を提示し、展開できる能力を身につけます。
5. コースワークの評価はシラバスに明記された各授業の評価基準にそって行います。リサーチワークの評価のために、中間報告、および口述審査を行い、審査基準に基づき修士論文、あるいは特定の研究課題成果を審査します。また、教育課程全体の評価方針として、コースワーク、およびリサーチワークのルーブリックによる評価を実施します。
6. 教員専修免許状（国語、英語）等、各種の資格等に必要となる科目を設置します。
7. 学術的な外国語能力の修得のための科目を設置します。また、留学生を対象とした日本語修士論文執筆指導の体制を整えます。

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科は、意欲的な学部卒業生のみならず社会人や留学生も広く受け入れることを方針としています。学部在学学生のために推薦特別選抜、留学生のために外国人特別選抜、社会人のために社会人特別選抜を実施します。外国語筆記試験、口頭試問、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れます。

1. 国際関係に関連する専門分野の明確な問題意識を抱き、基礎的な知識をふまえて、それを学術的に探究する意欲を持つ者。
2. 専門的な知識と研究方法を修得する意欲、および国際的、学際的な幅広い視野を獲得する意欲を持つ者。
3. 外国語や国際関係に関する一定の知識を持ち、それを研究や調査の遂行に活用することで、学術的な外国語運用力を高めたいという意欲を持つ者。
4. 本研究科で修得した能力を活かして、国際社会や地域社会において活躍する将来の見通しを明確に持つ者。もしくは、専門知を純粋に学びたいという意欲を持つ者。

担当教員及び授業科目

以下のページの通り。

《参考》以下は2026年度の開講予定科目及び担当者です。
変更になる可能性がありますのでご了承ください。

【国際関係学研究科相談窓口】

本研究科について、わからないこと、知りたいことなどがありましたら、研究科の助教がご相談に応じます。下記のメールアドレスまで、お気軽にご相談ください。

メールアドレス：gsir-contact@u-shizuoka-ken.ac.jp

担当教員名簿

国際関係学専攻		
研究分野	氏名	専門分野
国際政治・開発研究分野	教授 小塚 英治	開発経済学
	教授 佐藤 真千子	アメリカ政治外交, 国際関係論
	教授 森山 優	日本近現代史(政治・外交史)
	教授 山下 光	国際政治学, 安全保障・平和研究
	教授 若山 将実	比較政治学, 日本政治史, 政治制度論
	准教授 飯野 光浩	開発経済学, 開発援助論, 国際経済関係論
	准教授 石川 義道	国際経済学
	准教授 小窪 千早	国際政治学, 欧州の政治・安全保障, フランス現代政治
	准教授 長島 徹	ロシア政治, 国際政治学
	准教授 宮崎 晋生	経営学, 国際経営論
	講師 大野 純也	中国近現代史, 現代中国研究, 東アジア国際関係史
	講師 山本 健介	中東地域研究, パレスチナ/イスラエル研究
	助教 北野 嘉章	国際組織論
	教授 飯野 勝己	哲学, 言語哲学, コミュニケーション論
	教授 石井 由香	国際社会学
国際社会・文化研究分野	教授 犬塚 協太	家族社会学, ジェンダーの社会学, 歴史社会学
	教授 湖中 真哉	文化人類学, アフリカ地域研究
	教授 高畑 幸	都市社会学, 民族関係論, 在日外国人研究
	准教授 坂本 剛	社会心理学, 文化心理学, 環境心理学
	准教授 孫 晴剛	生態人類学, 人文地理学, アフリカ地域研究
	准教授 坪田 光平	教育社会学, マイリティ論, 移民研究
	講師 二羽 泰子	クロス・マイリティ研究, 共生の社会学, 解放文化研究, 障害学

比較文化専攻		
研究分野	氏名	専門分野
日本文化研究分野	教授 澤崎 宏一	文処理論, 第二言語習得等
	教授 鈴木 さやか	日本古典文学
	教授 竹部 歩美	国語学, 国語史
	教授 細川 光洋	日本近代文学
	教授 吉田 真樹	倫理学, 日本倫理思想史
	准教授 木澤 景	日本仏教, 武士道, 中古倫理思想
	准教授 酒井 彩	日本語教育学
	教授 奥蘭 秀樹	現代韓国政治外交, 朝鮮半島をとりまく国際関係
	教授 小針 進	現代韓国・朝鮮社会学, 北東アジア地域研究
	教授 奈倉 京子	文化人類学, 中国地域研究
アジア文化研究分野	教授 米野 みちよ	東南アジア文化, 音楽学, 文化人類学
	准教授 埴崎 悠輝	東南アジア地域研究, 地域協力論, 宗教学
	准教授 志田 雅宏	宗教学, ユダヤ研究
	准教授 堀内 賢志	現代ロシア政治・外交
	助教 吉田 航太	東南アジア地域研究, 文化人類学, 科学技術社会学
	教授 栗田 和典	近代イギリス史
	教授 澤田 敬人	比較国際教育学, 教育社会学, オーストラリア研究
	教授 須田 孝司	第二言語習得, 応用言語学
	教授 長野 明子	対照言語学, 形態論, 語形成
	教授 リダン ポール	応用言語学
英米文化研究分野	准教授 田村 敏広	認知言語学, 意味論, 語用論
	准教授 デイハーン ジョナサン	教育言語工学
	准教授 望戸 愛果	アメリカ史, 歴史社会学
	准教授 米山 優子	イギリス文化・文学, 社会言語学
	講師 岩本 教慈	発達心理学, 言語情報科学, 認知心理学, 音声学・音韻論
	講師 白木 三慶	アメリカ文学
	教授 園田 明人	心理学
	教授 橋本 勝	教育社会学
	教授 松森 奈津子	政治思想史, 地域研究(スペイン), 国際関係論
	准教授 小谷 民菜	ドイツ文学
ヨーロッパ文化研究分野	准教授 佐原 倫	フランス文学
	准教授 橋川 裕之	ヨーロッパ古代中世史, 文学と美術
	准教授 ファイファー マティアス	文芸社会学, 文化社会学
	講師 西村 晶絵	フランス文学

共通科目・専門科目一覧(2026年度)

【国際関係学専攻】

研究分野	授業科目	担当教員	備考
共通科目	国際政治研究A	小窪 千早	<p>【履修方法】 次に掲げる科目のうちから合計30単位以上を修得すること。</p> <p>(1) 共通科目 4 単位以上</p> <p>(2) 自分が所属する研究分野の専門科目16単位以上(ただし、国際関係学演習ⅠA・B、同ⅡA・Bを必ず含まなければならない。)</p> <p>(3) 国際関係学専攻の研究分野のうちから(2)以外の専門科目</p> <p>(4) 指導教員及び担当教員が必要と認めた場合には、他の専攻の共通科目・専門科目</p> <p>(5) 指導教員が必要と認めた場合には、他の研究科及び他の大学院の授業科目(当該研究科及び当該大学院との協議の上で、合わせて10単位を上限とする。)</p> <p>【修了要件】 在学期間中に、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文または課題研究の審査及び試験に合格することとする。また、これらに加えて、研究科が定めるルーブリックを用いた評価を受けなければならない。</p>
	国際政治研究B	長島 徹	
	地域研究A・B	山本 健介	
	国際行動研究A・B	高畑 幸	
	文化人類学研究法A・B	富沢 壽勇	
国際政治・開発研究分野	国際政治学研究ⅠA・B	佐藤 真千子	
	国際政治学研究ⅡA・B	山下 光	
	中国政治外交研究A・B	大野 絢也	
	朝鮮半島政治外交研究A・B	奥藁 秀樹	
	日本政治外交研究ⅠA・B	若山 将実	
	日本政治外交研究ⅡA・B	森山 優	
	EU政治研究A・B	小窪 千早	
	広域ヨーロッパ研究A・B	長島 徹	
	国際法研究ⅠA・B	今年度開講せず	
	国際法研究ⅡA・B	石川 義道	
	国際経済政策研究ⅠA・B	小塚 英治	
	国際経済政策研究ⅡA・B	今年度開講せず	
	国際開発研究ⅠA・B	飯野 光浩	
	国際開発研究ⅡA・B	今年度開講せず	
	国際金融研究ⅠA・B	今年度開講せず	
	国際金融研究ⅡA・B	今年度開講せず	
	国際経営研究ⅠA・B	今年度開講せず	
	国際経営研究ⅡA・B	宮崎 晋生	
	国際関係学演習ⅠA・B	指導教員	
国際関係学演習ⅡA・B	指導教員		
フィールドワーク	指導教員		
国際社会・文化研究分野	国際社会研究ⅠA・B	A 石井 由香 B 今年度開講せず	
	国際社会研究ⅡA・B	石井 由香	
	国際社会研究ⅢA・B	二羽 泰子	
	国際社会研究ⅣA・B	湖中 真哉	
	コミュニケーション研究ⅠA・B ☆	今年度開講せず	
	コミュニケーション研究ⅡA・B ☆	飯野 勝己	
	現代社会研究ⅠA・B	犬塚 協太	
	現代社会研究ⅡA・B	坂本 剛	
	現代社会研究ⅢA・B	坪田 光平	
	文化人類学研究A・B	孫 暁剛	
	行動計量学研究A・B	坪田 光平	
	国際関係学演習ⅠA・B	指導教員	
	国際関係学演習ⅡA・B	指導教員	
	フィールドワーク	指導教員	

【比較文化専攻】 No.1

研究分野	授業科目	担当教員	備考
共通科目	比較文化研究A・B	志田 雅宏	【履修方法】 次に掲げる科目のうちから合計30単位以上を修得すること。
	比較言語研究A・B	長野 明子	
	比較思想研究A・B	木澤 景	
日本文化研究分野	日本文化研究A・B ☆	木澤 景	(1)共通科目4単位以上
	比較宗教研究A・B	吉田 真樹	(2)自分が所属する研究分野の専門科目16単位以上(ただし、それぞれの研究分野で指定された演習ⅠA・B、同ⅡA・Bを必ず含まなければならない。)
	日本文化史研究A・B ☆	今年度開講せず	
	日本思想史研究A・B ☆	今年度開講せず	(3)比較文化専攻の研究分野のうちから(2)以外の専門科目
	日本文学研究ⅠA・B *	今年度開講せず	
	日本文学研究ⅡA・B *☆	細川 光洋	
	日本文学史研究A・B *	鈴木 さやか	(4)指導教員及び担当教員が必要と認めた場合には、他の専攻の共通科目・専門科目
	日本文学特殊研究A・B *	今年度開講せず	
	日本語表現研究A・B *☆	澤崎 宏一	(5)指導教員が必要と認めた場合には、他の研究科及び他の大学院の授業科目(当該研究科及び当該大学院との協議の上で、合わせて10単位を上限とする。)
	日本語表現特殊研究A・B *☆	今年度開講せず	
	日本語学研究ⅠA・B *☆	竹部 歩美	
	日本語学研究ⅡA・B *	今年度開講せず	
	日本語教育学研究ⅠA・B ★	今年度開講せず	
	日本語教育学研究ⅡA・B ★	酒井 彩	
	日本語教育演習 ☆	—	
	日本文化演習ⅠA・B	指導教員	【修了要件】 在学期間中に、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文または課題研究の審査及び試験に合格することとする。また、これらに加えて、研究科が定めるルーブリックを用いた評価を受けなければならない。
	日本文化演習ⅡA・B	指導教員	
	フィールドワーク	指導教員	
	アジア文化研究分野	アジア地域研究A・B	塩崎 悠輝
東洋思想史研究A・B		今年度開講せず	
中国文化研究A・B		美麗 和子	
現代中国研究A・B		今年度開講せず	
韓国朝鮮社会文化研究A・B		小針 進	
韓国朝鮮史研究A・B		小針 進	
朝鮮半島政治外交研究A・B		奥蘭 秀樹	
東南アジア文化研究A・B		米野 みちよ	
現代東南アジア研究A・B		塩崎 悠輝	
ロシア文化研究A・B		広岡 直子	
ロシア社会研究A・B		今年度開講せず	
日露関係研究A・B		堀内 賢志	
東西文化交流史研究A・B		オムニバス(米野 みちよ)	
華僑・華人文化研究A・B		奈倉 京子	
東南アジア民族学研究A・B		今年度開講せず	
アジア文化演習ⅠA・B		指導教員	
アジア文化演習ⅡA・B		指導教員	
フィールドワーク		指導教員	

【比較文化専攻】 No.2

研究分野	授業科目	担当教員	備考
英米文化研究分野	英米文化研究方法論A・B *	栗田 和典 澤田 敬人	(国語・英語教員専修プログラム) 専修免許状の取得要件は、一種免許状取得に必要な単位を修得しているほか、国語については日本文化研究分野、英語については英米文化研究分野のそれぞれ*印の科目から選択して合計で24単位以上を修得しなければならない。科目はA・Bの順で履修すること。
	英米文学研究A・B *	白木 三慶	
	イギリス文化研究A・B *	米山 優子	
	アメリカ文化研究A・B *	望戸 愛果	
	イギリス社会史研究A・B	栗田 和典	
	アメリカ社会史研究A・B	望戸 愛果	
	英米社会文化研究A・B	澤田 敬人	
	英語学研究A・B *☆	田村 敏広	
	英語意味論研究A・B *	田村 敏広	
	英語統語論研究A・B *	須田 孝司	
	言語機能論研究A・B *☆	長野 明子	
	第二言語習得研究A・B *☆	須田 孝司	
	外国語教育研究A・B *☆	須田 孝司	
	アカデミック・イングリッシュⅠA・B*	ディハーン ジョナサン	
	アカデミック・イングリッシュⅡA・B*	リダン ポール	
	英語教育演習	—	
	英米文化演習ⅠA・B	指導教員	
	英米文化演習ⅡA・B	指導教員	
フィールドワーク	指導教員		
ヨーロッパ文化研究分野	ヨーロッパ文化研究ⅠA・B	佐原 伶	(日本語教師養成プログラム) 日本語教師養成プログラム修了証の発行に必要な単位は、★の科目を必修とし、ほかに「日本文化」・「英米文化」の両分野から☆の科目を選択して(「国際社会・文化分野」の「コミュニケーション研究ⅠA・B」「コミュニケーション研究ⅡA・B」を含む)合計で24単位以上を修得しなければならない。科目はA・Bの順で履修すること。
	ヨーロッパ文化研究ⅡA・B	橋川 裕之	
	ヨーロッパ思想研究ⅠA・B	松森 奈津子	
	ヨーロッパ思想研究ⅡA・B	橋川 裕之	
	ヨーロッパ思想研究ⅢA・B	ファイファー マティアス	
	フランス文学研究A・B	西村 晶絵	
	フランス文化研究ⅠA・B	佐原 伶	
	フランス文化研究ⅡA・B	今年度開講せず	
	ドイツ文学研究A・B	小谷 民菜	
	ドイツ文化研究ⅠA・B	ファイファー マティアス	
	ドイツ文化研究ⅡA・B	今年度開講せず	
	人間科学研究A	園田 明人	
	人間科学研究B	橋本 勝	
	スペイン文学研究A・B	今年度開講せず	
	スペイン文化研究ⅠA・B	今年度開講せず	
	スペイン文化研究ⅡA・B	松森 奈津子	
	ヨーロッパ文化演習ⅠA・B	指導教員	
	ヨーロッパ文化演習ⅡA・B	指導教員	
	フィールドワーク	指導教員	
			※ 本プログラムは、法務省が定めた「日本語教育機関の告示基準」で求められた日本語教育に関する教育課程ではありません。本研究科で独自に設けた日本語教師養成プログラムです。

《入学者選抜試験に関する問い合わせ》

静岡県立大学学生部入試室（平日9:00～12:00、13:00～17:00）

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

TEL (054)264-5007 FAX (054)264-5199

メールアドレス: nyus@u-shizuoka-ken.ac.jp

ホームページ: <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

よくあるご質問: <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/faq/>

国際関係学研究所相談窓口

メールアドレス: gsir-contact@u-shizuoka-ken.ac.jp